

こんな活動もしています!

コーディネートやボランティア活動等

環境政策課が取り組んでいる 「ソーラークッカー」の出張授業

足利大学の中條教授と足利市の環境政策課が力を入れて取り組んでいる太陽熱で調理できる「ソーラークッカー」を通じて、発展途上国の森林伐採の現状やばい煙による死者の多さ、災害時でも応用できることなどを子供たちへ伝える出前授業。私も小中学校に向けての紹介を継続していきたいと思っています。



2月20日に山辺中学校で行われた様子。下野新聞で紹介されました。

RUN伴(らんととも)

RUN伴とは、認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら、全国各地をひとつのタスキでつなぎゴールを目指すイベントです。認知症の人と一緒にタスキをつなぐ体験を通じて、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指しています。昨年度は、33都道府県にて14,521名のランナーが参加し、内1,607名の認知症当事者が参加しました。



あしかが学校図書館よくし隊

足利市内小中学校図書館で活動するボランティア同士の交流会の実施や図書館整備のスキルアップを目指し、研修会を開催しています。



栃木次世代研究会



宇都宮市長から直々にLRTのお話を伺いました。

栃木県地方議会 女性議員連盟



栃木県中央児童相談所を有志で視察

栃木県隊友会足利支部

自衛隊退職者が会員となり、国民と自衛隊のかけ橋として相互理解を深めるために活動し、また、自衛隊退職者の親睦等を図ることも目的としています。月1回の役員会や機関誌の配布、各駐屯地記念祭への参加や場外飛行場の草刈作業など行っています。



ボランティアグループあしかが子育て応援ネット 「食物アレルギー講座・食物アレルギー座談会」

保護者が楽しんで子育てをし、子ども達が健やかに成長することを願って活動しています。主に子育て情報誌「いっしょに子育てガイド」作成しています。私は、主に食物アレルギーの子を持つ保護者支援を担当し、小中学校にて食物アレルギー講座を実施したり、2ヶ月に1度のペースで食物アレルギー座談会をしゃんしゃん広場(しらゆり幼稚園内)で開催したりしています。



食物アレルギー講座の様子

「毎月1回の清掃活動」

インターネットで呼びかけて行っているクリーン活動。毎月第2日曜日6時30分から東武足利市駅周辺を掃除させていただいています。



傍聴にきませんか? 市議会(定例会)は、毎年3月、6月、9月、12月の4回開かれます。

本会議は、議員定数(24人)の半数以上の出席で成立し、議案の議決など、議会の意思を決定する最も重要な会議です。本会議は、足利市役所3階 議場にて傍聴できます。詳細は、足利市議会ホームページ等でご確認ください。お待ちしております。

大谷やよい事務所 〒326-0006 足利市利保町2-8-18 TEL.0284-42-1413 (留守が多く迷惑をおかけいたします。伝言をご利用ください。こちらからご連絡致します。)

URL: <http://otaniyayoi.com/> 「大谷弥生」「足利市議会議員 大谷やよい」で活動内容掲載中

大谷やよいプロフィール 昭和48年6月15日生まれ 現在44歳(旧姓:宮澤)。足利市立北部小学校/北中学校/栃木県立足利南高等学校 卒業。夫と息子2人の4人家族。
[職歴] 海上自衛官(wave34期)(平成7年~平成9年)、高毛ヤクルトでヤクルトレディ(平成9年~平成12年)、とちぎコープ利保店(平成13年~平成18年)、水道検針員(平成18年~平成26年)
[現在のボランティア活動など] ボランティアグループ あしかが子育て応援ネット(平成21年~)、前山山辺中学校地域支援本部 代表・地域コーディネーター(平成22年~)、足利市学校ボランティア(市内小中学校数校で活動中)(平成22年~)、足利市PTA-06会(防災ワークショップ・ファシリテーター(平成24年~)、足利市家庭教育支援チーム(観望プログラム・ファシリテーター)(平成21年~)、名草FC、栃木県サッカー女子連盟(サッカー審判2級)(平成18年~) [これまでの活動] きた保育所保護者会 会長(平成16年度)、足利市立北部小学校PTA会長(平成20年度~3年)、足利市小中学校PTA連合会 副会長など(平成21年度~5年)、栃木県PTA連合会 教育課題委員など(平成23年度~3年)、日本PTA全国協議会 栃木県母代表(平成25年度)、晋徳寺 持宝院 総代(平成21年度~2年)、栃木県立足利南高等学校PTA会長(女性初、平成26年度)、栃木県社会教育委員(第33期、平成26年度)、栃木県立足利図書館協議会委員(平成22年度~5年)、栃木県立足利南高等学校PTA会長等(平成24年度~5年)、あしかが学校図書館よくし隊(平成28年度~)



足利市議会議員

大谷やよい

いつも元気でおせっかい

あししぎ・あしあと

● ごあいさつ

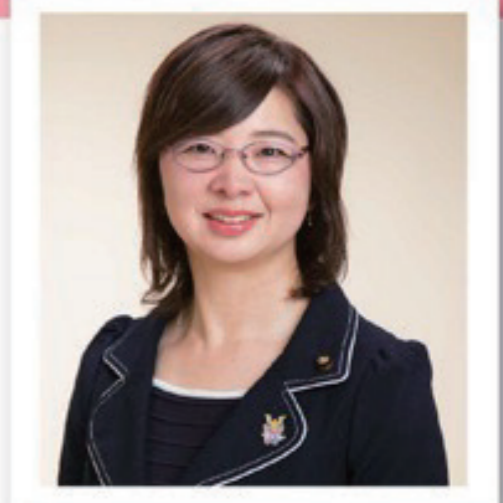
去る平成27年4月に行われました足利市議会議員において、多くの市民のみなさまのご支持を頂き、市議会という新たな活躍の場を与えていただきました。4年目を迎える今でも、ご支持いただいたみなさまには、感謝の気持ちでいっぱいです。

平成8年に第1子を授かってから、子ども達が縁となって活動が始まったPTA・子育て支援や学校支援・サッカー審判活動など、多くの仲間を支えられ、様々な活動をしてきました。しかし、活動を重ねるにつれ多くの課題にぶつかり、ボランティア活動の限界を感じ始めました。本格的に活動したい。もっともっと足利市をよくしたい。との思いで立候補。おかげさまで現在は、これまでの市民活動も継続しながら、また、新たな活動も加わり、これまで以上に多くの足利市民のみなさんと一緒に活動することができています。

みなさんと一緒に活動することで、足利市をよくするヒントやアイデアをいただき、市議会議員としても活動の幅が広がりました。これまで私が活動してきた内容は、市議会定例会が終了するたびに「あししぎ・あしあと」という題名の活動報告書を作成し、地元である北郷・名草地区を中心に配布してきました。「あししぎ・あしあと」とは、「足利市議会議員として活動した足跡」を略した造語です。

新人議員として活動した3年目の足跡を、もっと多くの方にお伝えし、ご指導を頂けたらと思い、あししぎ・あしあと9~12号分をまとめた「平成29年度 特集号」を今年度も作成しました。一読いただくと嬉しいです。

いつも元気でおせっかい 大谷弥生は、これからも身近で親しみやすく、そして4年目となる今年度も、「初心忘れず、所信ぶれず」で頑張ります! これからもご指導をお願いいたします。



● 2月4日(日) 第2回 大谷やよい市政報告会並びに防災フォーラム

今年度も昨年度に引き続き、市政報告会と「防災」をテーマにした交流会を開催し、定員いっぱいとなる約80名の方にご参加いただきました。

1部の市政報告会では、公共施設の変化が目まぐるしくなってきたので、今後立て替えや移転する施設等説明しました。

2部の防災フォーラムでは、「災害に強い街づくりは、子育てしやすい街・高齢者にやさしい街でもある」との私の信念のもと、日ごろからの地域コミュニティ活性化も目指し、今年度は、災害救援ボランティア推進委員会の仁藤智治氏を講師に招き、クロスロード*を参加者のみなさんに体験していた



いただきました。「災害時は様々な決断が必要になり、平常時にその練習と心構えの必要性、そして何より自分とは違う意見を持つ人々がいるということに認識して欲しい」と思っていました。ご参加いただいたみなさん、本当にありがとうございました。



*「クロスロード」とは? 「岐路」「分かれ道」のこと。災害対応は、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。カードを使いゲーム感覚で、災害時の対応を掘り下げ、考え方や知恵の交換・共有を行う研修教材です。

● 平成29年度予算要望書の回答結果 3年間要望してきた「学校図書館司書の配置」が実現しました!

平成29年度に実現した市立図書館司書による学校図書館への巡回訪問に引き続き、平成30年度からは、教育研究所に司書の資格を持つ学校図書館指導員を2名配置し、各学校の実態やニーズを考慮しながら各学校の図書館教育を充実させ、子ども達の学力の向上を図っていきます。

読書のまち足利市を目指して、今後も、市立図書館や学

校図書館、読み聞かせ等のボランティアのみなさんが連携できる仕組みを充実させていきたいです。



北郷小をお借りして実施した図書館ボランティア研修会の様子

● 定例会・一般質問

■平成29年 第2回市議会定例会 6月議会 6月5日(月)～6月30日(金)

6月19日(月)13時より、8度目となる一般質問を行いました。

具体的な内容は、以下の通りです。

- 1、小中一貫教育「義務教育学校」について
文部科学省は、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」の制度を創設し1年が経過した。また、子どもたちの発達を早期化しており、中学校で行ってきた指導を小学校の段階で行う方が効果的である場合も増えてきている。県内でも小中一貫教育校を設置した市もあり、同校についての所見を聞いた。
- 2、少子化に伴う学校のあり方について
足利市でも、少子化が進展し、数年後には1学年1,000人程度となる。中学校においては、学級数の減から教職員数も減少し、免許外指導や部活動にも影響がでている。これらの対策や本市の適正規模・適正配置について質問した。
- 3、サッカー環境の向上について

平成30年6月の供用開始を目指して、足利工業大学敷地内に人工芝サッカー場を整備する。近隣市と比べてもサッカー環境が劣っている中学生をはじめとする市民利用をどのように考えているのか。また、助成金の活用や隣接する撮影施設との共存共栄方法などについての考えを聞いた。



4、歩いて健康になる観光地づくりの推進について
健康志向の高まりでハイキングを楽しむ人々が増えている。二次交通の利便性を向上することで、観光客増加を図れないか。また、市内のハイキングコースには観光トイレが少なく、特に北東部のハイキングコースは起点となる榑崎八幡宮にある地元の集落研修集会センターのトイレを借りている状況である。このエリアでは史跡榑崎寺跡の復元整備を現在進めているが、観光施設としての整備もできないか所見を聞いた。

■平成29年 第3回市議会定例会 9月議会(決算議会) 8月29日(火)～9月22日(金)

9月8日(金)13時より、9度目となる一般質問を行いました。今回は少子化対策について、具体的にご説明します。

1、少子化対策について

(1) 子供の医療にかかわる制度

国は、「ニッポン一億総活躍プラン」に基づく子ども医療費助成に係る国民健康保険の減額調整措置に関する検討において、地方自治体の少子化対策の取り組みを支援する観点から、未就学児までを対象とする医療費助成については、平成30年度から国民健康保険の減額調整措置を行わないこととした。

見直しにより生じた財源については、さらに医療費助成を拡大するのではなく、他の少子化対策の拡充に充てることを各自治体に求めているが、国の意向に対する市長の所見を聞きたい。

(2) 不妊治療支援

栃木県では、不妊に悩む方への特定治療支援事業の助成

内容を拡充し、平成28年1月20日以降に終了した一部の治療を対象に、男性不妊治療への助成を新設した。本市でも不妊治療費や不育症治療費の助成を行っているが、栃木県とは助成内容も異なる。不妊に悩む方への対応はどのように行っているのか。

(3) 児童虐待

ことし4月に施行された児童福祉法では、児童虐待の発生予防から自立支援までの一連の対策のさらなる強化等を図るため、市町村は児童等に対する必要な支援を行うための拠点整備に努めるものとされた。児童虐待に対し、より一層支援を充実させる必要性が求められているが、本市の取り組み状況について聞きたい。

2、財務マネジメントについて

(1) 内部統制基本方針の策定と決算不認定の場合の報告規定

3、新地方公会計制度について

(1) 施設別フルコストの把握

制度・分野ごとの縦割りや支え手、受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すもの。厚生労働省では、「地域共生社会」の実現に向け、今後目指しているものは、地域の力・助け合い・支え合いです。私は、今後も、昔ながらの地域での支え合いを強化していく必要があると思っています。その理由として、少子高齢化による人口アンバランスや自然災害多発等の喫緊の課題があるからです。

詳細は、足利市議会ホームページ「会議録検索と閲覧」よりご覧いただけます。



北野地区における協議体の話し合いの様子

● 市議会での活動紹介

1、「広報委員会」委員長としての活動 2月7日(水)～9日(金) 初めての「市議会だより」表紙に関するアンケート調査実施

「手に取ってみたいと思う表紙は、どの表紙ですか?」と、足利市役所の市民ホールを訪れた方に問いかけ、1日6時間、100枚の調査枚数を目標に広報委員が2グループに分かれ3日間アンケート調査を実施しました。

アンケート調査に使用した表紙は、足利市議会だよりの表紙2号分を含め、10号分の他自治体の市議会だより表紙を掲示し、第一印象でお答えいただくものでしたが、様々なジャンルの表紙があったので、悩んでいる方が多かったです。

調査にご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。調査結果は、市議会だよりに掲載します。

委員長として、初めての活動を終えることができホッとしています。

2、「議会報告会」副委員長としての活動 11月18日(土) 足利市議会初となる県立高校生との議会報告会・意見交換会を実施

まずは、市議会議員のことを知ってもらおうと事前配布した「市議会のしくみ」を1から資料作成したり、意見交換会をワークショップ形式で行ったりしましたので、その進行や当日の司会など、すべてが1からの準備でしたので大変でした。しかし、実施中見受けられた高校生や参加議員のキラキラとした笑顔を見て、疲れも癒されました。



「広報委員会」委員長としての活動



「議会報告会」副委員長としての活動

● これから新しく生まれ変わる足利市の施設

1、斎場(新山町)

現斎場は、昭和51年11月供用開始。老朽化等に伴い、火葬機能を維持しながら現斎場施設の敷地に段階的に建替え予定です。供用開始目標は、平成37年度中です。



2、保健センター(大正町)

医師会の移転に伴い、保健センターに機能を移転します。新医師会の移転先は、足利短期大学付属高等学校体育館南です。平成31年3月移転予定です。



3、消防本部・中央消防署(大正町)

昭和44年に建設後、老朽化が進行し、旧耐震基準の建物であり、栃木県内で唯一耐震基準に満たない消防施設である。現在地に建て替え、平成32年度完成予定です。



4、南部クリーンセンター(野田町)

昭和58年6月供用開始。平成26年12月久野地区保全協議会に対して、新炉建設を打診。平成29年3月に基本構想を策定し、平成30年3月には、保全協と基本合意書を締結することができました。



トピックス

国民健康保険制度が4月から変わりました!

平成30年度より、栃木県が国保運営の中心的な役割を担い、県と市町が一体となって国保事業を実施することになりました。これまでは、足利市民で支え合っていた国民健康保険ですが、これからは、栃木県民で支えていくことになりました。



届け出や保険料の納付などはこれまでどおりお住まいの市町の担当窓口でできます。

市街化調整区域における許可基準の緩和

小学校の敷地境界からおおむね250mの範囲において、非自己住居の住宅分譲等も認められるようになります。ただし、農地の転用を伴うものは、建売分譲に限ります。

平成30年4月からペットボトルの回収方法が変わりました!

ごみステーションへ排出する際は、ラベルをはがして資源物の日に排出していただきますようお願いいたします。

